

SJクイズ

[問題編]

Q1

2021年の歩行中の交通事故死者数を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）が占める割合は何%でしょう？

- ①約57% ②約67% ③約77%

Q2

2021年の高齢歩行者（65歳以上）の交通事故死者数を時間帯別にみると、最も多い時間帯は次のうちどれでしょう？

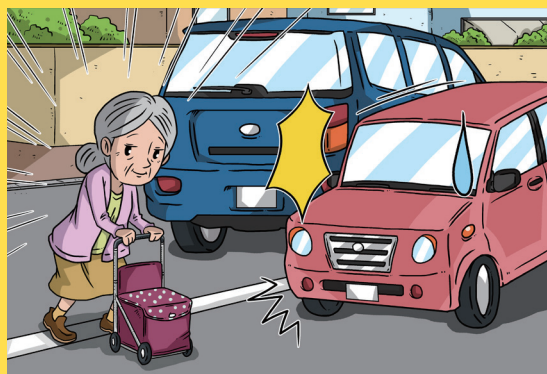
- ①10～12時 ②16～18時 ③18～20時

Q3

2021年の高齢歩行者（65歳以上）の横断中の交通事故死者数（第1・第2当事者※）のうち、横断違反（横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等）があった割合は何%でしょう？

- ①約18% ②約28% ③約38%

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。
第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。



【使用上の注意】

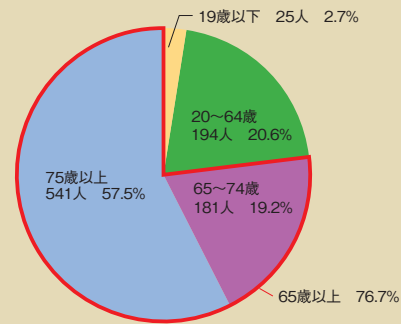
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q1 解答 ③約77%

<解説>

2021年の歩行中の交通事故死者数（941人）を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）が76.7%を占めている。また、75歳以上が占める割合は57.5%となっており、高齢者の歩行中事故の約7割は道路横断中に起きている。事故の特徴として、横断後半に左側から来るクルマと事故に遭うケースが多い。遠くから向かってくるクルマとの距離や速度はつかみにくく、自分が思っている以上に早く近づいてくることがある。そのため、クルマがいる時は通り過ぎるまで待つなど、加齢に伴う身体機能の低下を踏まえて行動してほしい。

●歩行中の年齢層別・交通事故死者数（2021年）



出典：交通統計 令和3年版

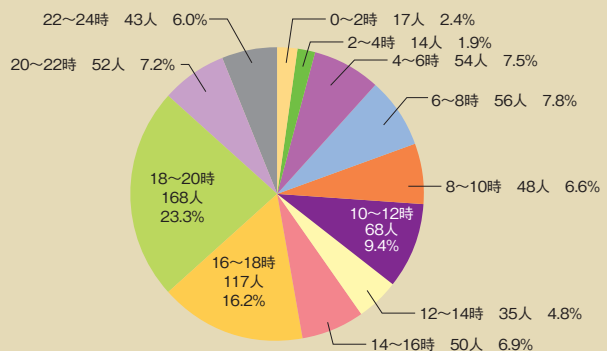
Q2 解答 ③18～20時

<解説>

2021年の高齢歩行者（65歳以上）の交通事故死者数を時間帯別にみると、18～20時が最も多く、次が16～18時と、薄暮時から夜間にかけて多発している。

このような時間帯に外出する際は、ドライバー・ライダーに発見されやすいように反射材を身につけるか、白や黄色といった目立つ色の服装を着用することが事故防止につながる。また、ドライバー・ライダーは夜間、対向車や前車がない時は、ヘッドライトをハイビームにして視界を確保するとともに、自分の存在を周囲にも知らせるようにしてほしい。

●高齢歩行者の時間帯別・交通事故死者数（2021年）



出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q3 解答 ②約38%

<解説>

2021年の高齢歩行者（65歳以上）の横断中の交通事故死者数（第1・第2当事者）を法令違反別にみると、横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断といった横断違反が38.4%と最も多い。

道路を横断する際は、横断歩道が少し離れていても安全のために必ず横断歩道を渡ってほしい。やむを得ず横断歩道がないところを横断する場合は、左右からクルマなどが来ていないなど周囲を十分に確認する必要がある。さらに、横断時、道路の中央、センターライン手前でもう一度、左からクルマが来ていないか確認することが事故防止につながります。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736